

2012年2月期 第1四半期

決算説明資料

2011年3月～2011年5月



株式会社 エスケイジャパン

代表取締役社長 久保 敏志

(証券コード:7608)

SKグループ事業内容

会社名	主な事業内容	セグメント
 <p>株式会社 エスケイジャパン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アミューズメント部門 ・SP(セールスプロモーション)部門 ・EC(インターネットショッピング)部門 	<p>キャラクター エンタテイン メント事 (直販)</p>
 <p>株式会社 サンエス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴィレッジヴァンガード、ドン・キホーテ、 キデイランド等へのキャラクターグッズ販売 	<p>キャラクター・ ファンシー事業 (直販)</p>
 <p>株式会社 ケー・ディー・システム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターグッズの企画開発・販売 グループのメーカー部門として展開 (エスケイジャパン・サンエスへの売上は全体の約60%) 	<p>キャラクター・ ファンシー事業 (メーカー)</p>
 <p>株式会社 ナカヌキヤ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ナカヌキヤ」「SALAD BOWL」による小売販売 心齋橋店 広島本通り店 松山銀天街店 つかしん店 広島ASSE店 河原町店 	<p>リテイル事業</p>
 <p>SKJ USA, INC.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカでのキャラクターグッズ販売 ・アメリカのキャラクター発掘と日本への情報提供 (10年8月よりスタート) 	<p>キャラクター エンタテイン メント事業</p>

業績報告

業績ハイライト(当四半期／前四半期)

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前四半期	当四半期	増 減	増減率
売上高	2,292	1,946	△346	△15.1%
キャラクターエンタ テインメント事業	1,408	1,118	△247	△18.1%
キャラクター・ ファンシー事業	675	606	△ 68	△10.2%
リテイル事業	251	220	△ 30	△12.1%
営業利益	127	△23	—	—
キャラクターエンタ テインメント事業	81	△35	—	—
キャラクター・ ファンシー事業	37	16	△ 20	△55.4%
リテイル事業	5	△ 8	—	—
経常利益	129	△28	—	—
四半期純利益	15	△44	—	—

キャラクターエンタテインメント事業の不振により減収となり、販管費は削減したものの23百万円の営業損失となる

主な業績増減要因(当四半期／前四半期)

キャラクターエンタテインメント事業

(単位:百万円)

	前四半期	当四半期	増 減	増減率
売上高	1,365	1,118	△247	△18.1%
AM部門	1,041	893	△148	△14.3%
SP部門	315	207	△107	△34.1%
EC部門	8	17	9	102.0%
営業利益	81	△35	—	—

- ・AM部門 オペレーターへの売上高の減少 △91百万円
- 前期ヒットした「スージー・ズー」の反動 △263百万円
- ・SP部門 出版会社向け売上高の減少 △28百万円
- 製薬会社向け売上高の減少 △42百万円
- ・EC部門 フィギュアの売上高の増加 6百万円

主な業績増減要因(当四半期／前四半期)

キャラクター・ファンシー事業

(単位:百万円)

	前四半期	当四半期	増 減	増減率
売上高	675	606	△68	△10.2%
営業利益	37	16	△20	△55.4%

・ワンピース商品の売上高の減少

△10百万円

当四半期実績 187百万円

前四半期実績 197百万円

・ウサビッチ商品の売上高の減少

△77百万円

当四半期実績 38百万円

前四半期実績 115百万円

・モンスターハンター商品の売上高

35百万円

(前四半期は売上ゼロ)

主な業績増減要因(当四半期／前四半期)

リテイル事業

(単位:百万円)

	前四半期	当四半期	増 減	増減率
売 上 高	251	220	△30	△12.1%
営 業 利 益	5	△8	—	—

・「ナカヌキヤ」3店舗の売上高の減少 △44百万円

心齋橋店 58百万円(前期比△38.6%)

広島本通り店 108百万円(前期比△4.9%)

松山銀天街店 30百万円(前期比△5.3%)

・「SALAD BOWL」の売上高の増加 19百万円

当四半期実績 23百万円(3店舗)

前四半期実績 3百万円(1店舗)

EC部門

自社サイト開設(<http://pushone.jp/>)

- ・他ショッピングモールへの出店に比べて、システム利用料・ロイヤリティが軽減される
- ・これまで困難であったBtoB取引が可能になる
- ・エンドユーザーの囲い込みと認知度の向上

SKJ USA

アメリカ向け著作権取得が加速(今月中に5キャラクター契約予定)

リテイル事業

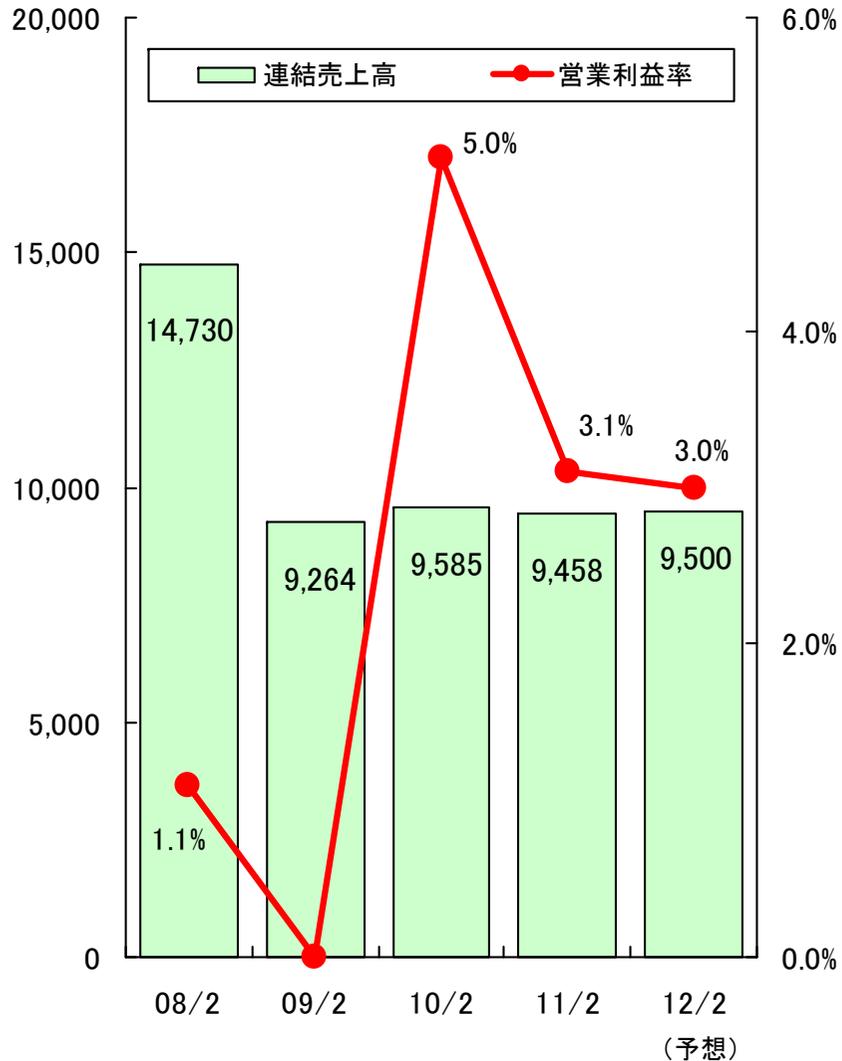
SALAD BOWLの出店要請増加

(7月4日付織研新聞参照)

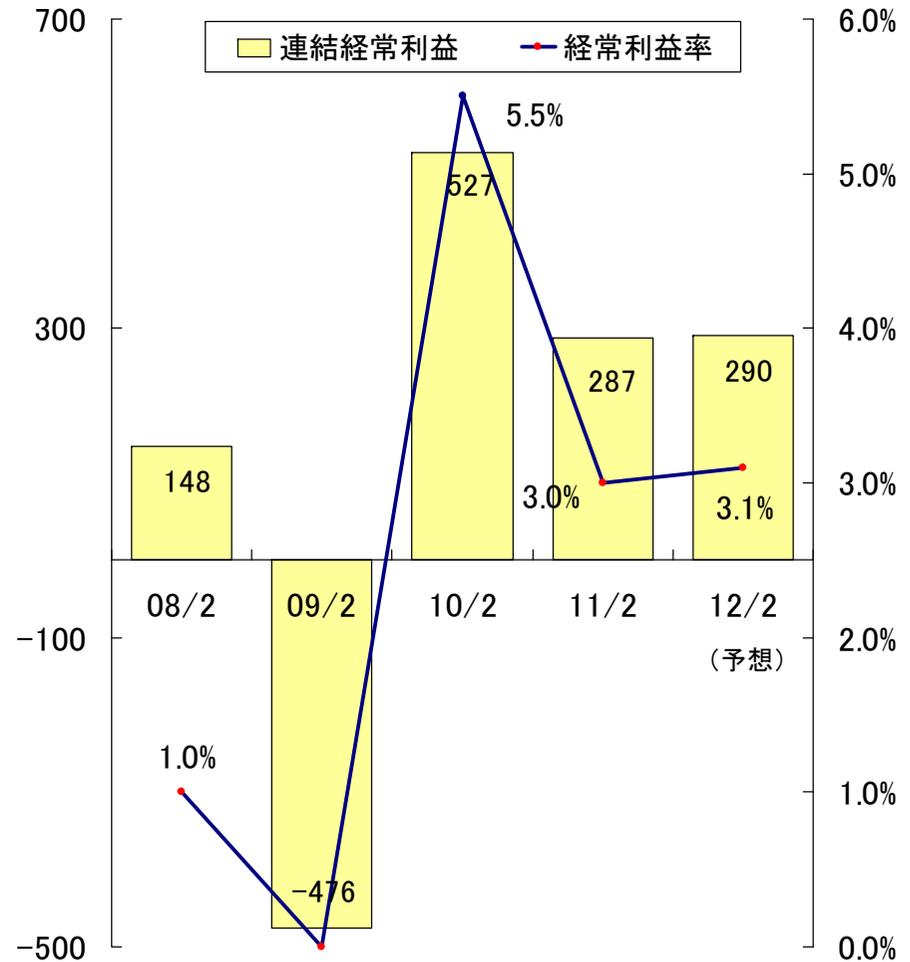
損益推移

(単位:百万円)

連結売上高・営業利益率の推移



連結経常利益・経常利益率の推移



配当および業績見込み

株主還元

当社は株主還元として年12円(中間6円、期末6円)の配当を基本にし、計画を上回る利益が見込める場合は、増配もしくは株式分割を実施することを経営の重要課題としております。

	2002/3	2003/3	2004/3	2005/3	2006/2	2007/2	2008/2	2009/2	2010/2	2011/2	2012/2 (予想)
株式分割	—	1:1.3	1:1.2	1:1.3 1:1.1	—	—	—	—	—	—	—
配当金	13円	16円	17円	20円	14円	14円	12円	9円	14円	12円	12円
	記念 配当1 円	記念 配当4 円	記念 配当5 円	記念 配当8 円	記念 配当2 円	特別 配当2 円			記念 配当2 円		
増配	大証2 部 上場記念	(※) 東証2 部 上場記念	(※) 阪神 タイガース 優勝に伴う 好業績 に対して	東証 大証 1部上 場 記念 創立15 周年記念	(※) 阪神タイ ガース 優勝	当初の 計画を 上回る 好業績 達成			創立20 周年記念		

(※)SKグループは阪神タイガースグッズを企画販売し、また阪神タイガースオフィシャルショップをナカヌキヤ広島本通り店で展開しており、グッズの企画販売を通して阪神タイガースを応援してきたことによります。

通期業績予想(当期予想／前期実績)

連結業績予想

2012年2月期

2011年2月期

(単位:百万円)

	前期実績 (2011年2月期)	当期予想 (2012年2月期)	予想増減額	予想増減率
売上高	9,458	9,500	41	0.4%
営業利益	286	288	1	0.4%
経常利益	287	290	2	1.0%
当期純利益	139	245	105	76.0%

個別業績予想

(単位:百万円)

	前期実績 (2011年2月期)	当期予想 (2012年2月期)	予想増減額	予想増減率
売上高	5,571	5,700	128	2.3%
営業利益	132	135	2	2.2%
経常利益	142	155	12	8.7%
当期純利益	55	153	97	177.2%